



年 組 名前

道新 ワークシート

夕鉄廃線後の自転車道、すでに大半閉鎖

鉄道跡地利用に難しさ

【夕張】JR石勝線夕張支線の廃止から1年が経過したが、夕張支線の跡地活用はまだ決まらない。この4月は夕張市内を走っていた旧夕張鉄道全線廃止45年の節目でもある。こちらは市が1988年にサイクリングロードとして整備したものの、老朽化したトンネルが危険という理由などから市は大半の区間を閉鎖した。残った区間も利用者は少なく、跡地活用の難しさを示している。(志村直)

夕張鉄道は、主に石炭の輸送を目的に26年(大正15年)に栗山―新夕張(のちの夕張本町)間で開業。30年(昭和5年)には野幌ま

身の健康を回復」(市史)させるため、80年代に同鉄道の線路跡を中心に、社光―富野間18キロでサイクリングロード整備を開始。84年に起点となる社光に宿泊もできるサイクリングターミナル「黄色いリボン」を建設。88年にサイクリングロードが全面的に完成した。自転車200台近くの貸し出しも行い、多くの市民や観光客でにぎわった。しかし、途中3カ所にあるトンネルはれんが、コン



平和運動公園手前のサイクリングロード。利用されている様子はいかたがえ

JR支線跡 まだ決まらず

クリート製で経年劣化が激しく、崩落の危険があると見て、市は2000年代前半にホテルマウントレースイー平和運動公園間の5キロ区間を残し、大半の13キロ区間を閉鎖した。サイクリングターミナルは07年に市が財政再建団体(現在は財政再生団体)となり、09年に生キャラメル製造の「花畑牧場」に売却した。

一方、JR夕張支線の跡地16キロについては、民間から「トロック」を走らせたりなどのアイデアも出るが、JRも市も「跡地活用策は決まっていない」と話す。市は「線路を撤去するにも金がかかる。サイクリングロードの例から見ても分かる通り、跡地活用は一筋縄ではない」と話す。

管内では5月6日をもって、札沼線の一部(北海道医療大学―新十津川)が廃線となる。

2020年4月8日(水) 朝刊 地方 空知 16P

①新聞記事から、サイクリングロードの利用者がほとんどいない原因を考えなさい。

②JR夕張支線の跡地を有効に利用するためには、どのようにしたらよいか考え、理由も説明しなさい。